



# 旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 12月号

令和4年12月1日発行

## あれから45年！

校長 渡邊 重幸

1977年（昭和52年）11月15日に事件は起きました。当時、新潟市立寄居中学校1年生だった横田めぐみさんは、学校からバドミントン部の練習を終えて帰る途中に北朝鮮の工作員に拉致されました。学校から自宅までの約600mの間に発生しました。あれから45年が経ちました。この間、両親は救出を訴えて全国で1400回を超える講演を重ねてきました。しかし、進展は無いまま、めぐみさんのお父親の滋さんは一昨年、再会を果たすことなく87歳でこの世を去りました。

私が副校長時代に東京都人権教育推進校の研究指定を受け、取り組みました。普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組と両視点から研究を進めてきましたが、その一つとして人権課題「北朝鮮による拉致問題」を取り上げ、授業実践等を行いました。実践するにあたり、やはりご本人の生の訴えを聞きたいと思い、自ら横田滋さんに連絡し、快諾いただきました。以下にある写真がその当時の写真です。（新潟市へも行ってきました。）

早紀江さんは私たちに涙ながらに話してくださいました。「私は、難しいことをお願いしているわけではありません。ただ、娘に会いたいです。返してもらいたいただけなのです。」と。

先日の集会でも、めぐみさんへの手紙と題して「めぐみちゃん、こんにちは。昭和52年11月15日。あなたが北朝鮮に拉致されたあの日から、45年の月日が流れてしまいました。13歳だっためぐみは58歳。今、どんな姿なのか、もはや想像することもできません。中略。めぐみちゃん。きっとあなたのことだから、さまざまな苦難の中でも、必死に頑張っていることでしょう。お父さんは天から見守ってくれています。お母さんは、残された時間の全てを、あなたとの再会のためにささげます。その思いが揺らぐことは決してありません。生きて必ず、また会いましょう。その日まで、どうか待っていてね。」と話されていました。

私たち自身が自分事として、協力していかなければいけません。そして、拉致被害にあわれた方々の一刻も早い帰国を、実現させなければなりません。一刻も早く。



【命の授業（ビオダンサ）】

11月12日（土）に、ビオダンサ ファシリテーターの内田佳子先生をお迎えし、全校生徒がビオダンサ（生命のダンス）を体験しました。音楽と簡単なインストラクションを通して、自分自身を再発見したり他者とのつながりを愉しんだり、笑顔満載のひと時を過ごしました。



【ごちえもん】

11月18日（金）に、和楽器演奏で海外でも公演されている「ごちえもん」の皆様にお越しいただきました。「津軽三味線と和太鼓」の融合で素晴らしい演奏をしていただきました。後半には、ワークショップもあり各学年クラスの代表が太鼓の実技体験を行いました。来賓の皆様、保護者の皆様ご参観いただきありがとうございました。

- (メンバー)
- 小山竜昇さん(津軽三味線)
  - 小山浩秀さん(津軽三味線)
  - 高田 淳さん(和太鼓)
  - 井上智彦さん(和太鼓)

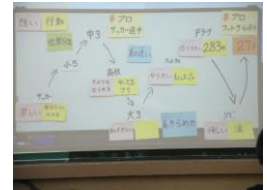
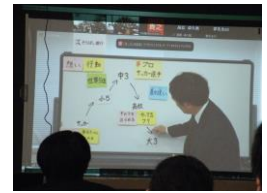
＜プログラム＞

- 輝き&こきりこ
- メンバー紹介
- 風薫る津軽(二上メドレー)
- 我すなわち津軽なり
- 流星
- Clover
- クロス
- ワークショップ
- サザエさん
- ～コーヒールンパ
- 海じん
- (アンコール曲)
- 上を向いて歩こう



【夢先生】

11月21日（月）に、JFA主催「心のプロジェクト」を2学年、D組を対象に行われました。講師は、元フットサル選手の久光邦明先生です。久光先生は中学生時代東京ヴェルディのアカデミーに在籍、強豪、桐蔭学園高校、関東学院大学へ進学しプロのサッカー選手を目指しました。しかし、挫折を経験し、2007年に本格的にフットサル競技に転向しました。お兄さんが所属していたペスカドーラ町田に入団、その後、ステラミーゴ岩手花巻、パサジイ大分、湘南ベルマーレに移籍し、最後はヴォスクオーレ仙台で活躍し引退しました。その時の成功と挫折を折れ線グラフを使って分かりやすく説明していただきました。



【川越校外学習】

11月22日（火）に、1学年は川越に校外学習に行ってきました。天候もよく、事前に計画した行動表に沿って班で協力して施設をめぐることができました。



＜子供を笑顔にするプロジェクト＞

- 1 日時 12月20日（火）10：45～12：35（各学年1時間枠）
- 2 対象 全学年
- 3 会場 本校 体育館
- 4 講師 土井レミイ杏利先生（元ハンドボール日本代表キャプテン）
- 5 講師紹介

レフトウイングのポジションを務め守備からサイドを一気に駆け上がり、角度をつけたシュートで得点を奪う速攻が持ち味です。大学卒業後にフランスに渡り、現地の1部リーグのクラブで活躍し、2017年にはいわゆるオールスターゲームに日本の選手として初出場するなどフランスでは2020年までの6シーズン実績を残しました。帰国後は日本代表のキャプテンとなり、精神的な支柱としてチームを引っ張ってきました。土井選手はダンスや楽器の演奏など多彩な趣味をもち、SNS上では「レミたん」の愛称で投稿する動画が人気を博し、230万人以上のフォロワーを抱えるなどその情報発信力も注目されています。

